

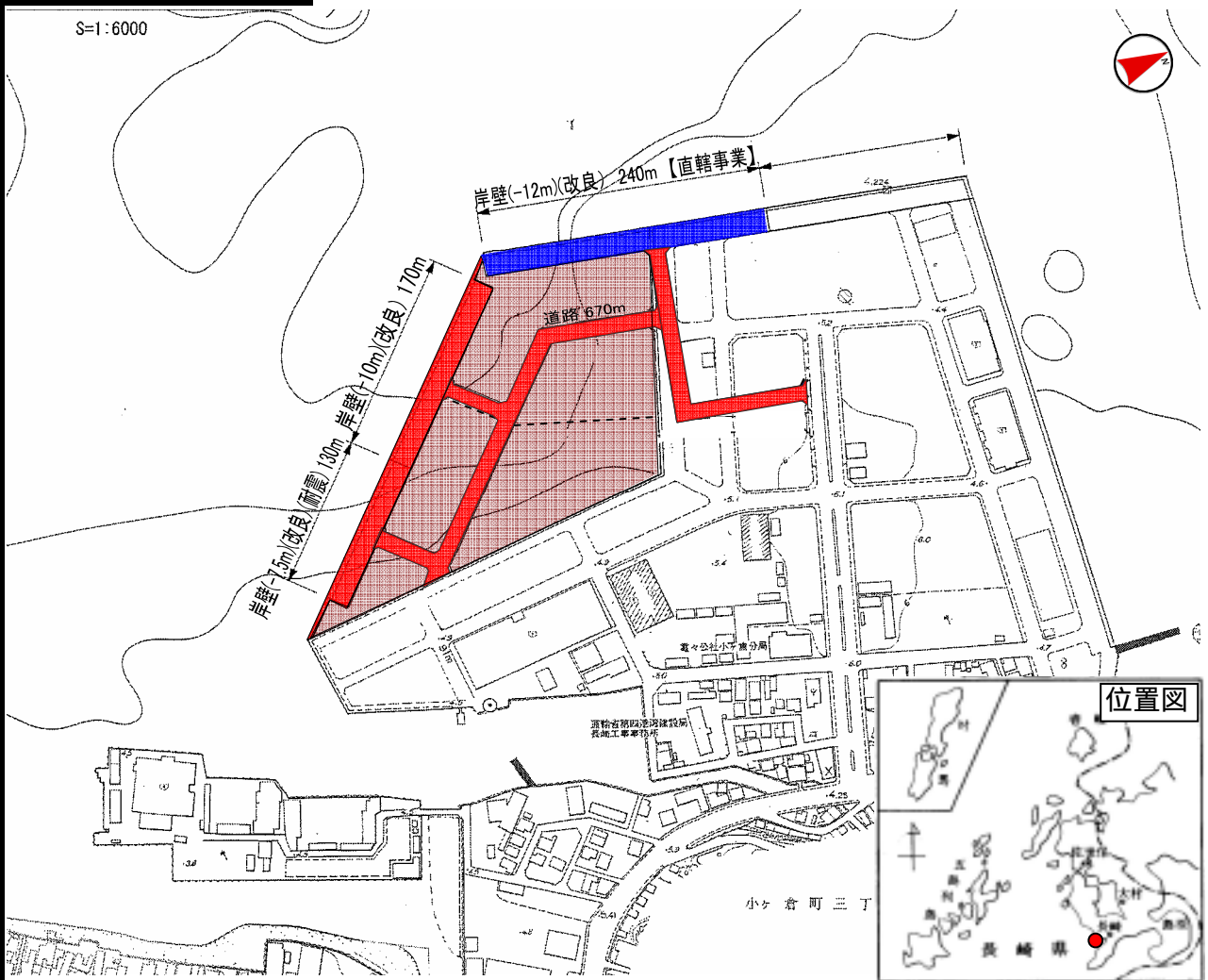
長崎港改修事業(小ヶ倉柳地区) ～ 貨物埠頭再編による国際物流機能の強化～

1. 事業概要

小ヶ倉柳地区公共外貿埠頭の施設の老朽化や用地不足を解消し、効率的な輸送体系を確立するため貨物埠頭を再編し、地域の経済や産業を支える機能の強化を図り、国際コンテナ物流などの地域間競争力を高める。また、震災時における緊急物資の輸送などに対応する防災拠点港としての役割を担うため耐震強化岸壁を整備する。(直轄事業により岸壁(-12m)(改良) 240mを一体として整備)

場所	長崎市小ヶ倉町	諸元	岸壁(-10m)(改良) 170m 岸壁(-7.5m)(改良)(耐震) 130m 道路 670m(幅員6m)	事業費	22年度	7.7億円
事業着手	平成19年度	完成予定	平成25年度	全体	53.8億円	

位置図・平面図・写真等



2. 整備効果	<ul style="list-style-type: none"> ・ふ頭整備により用地不足が解消し、効率的な輸送体系が確立されるとともに、老朽化した施設の延命化が計られ、地域の経済や産業を支える機能が強化される。 ・耐震強化岸壁により緊急物資の輸送や、避難路が確保される。
3. 平成22年度の事業内容	岸壁(改良):基礎工、本体工、裏込工